

平成23年度 九州栄養福祉大学・大学院 教員情報

【リハビリテーション学部 作業療法学科】

佐藤 裕司 SATO Yuji 准教授 (作業療法学科長)

所 属	九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
専 門 分 野	作業療法一般、精神科領域作業療法、高齢者への作業療法
最 終 学 歴	福岡県立大学大学院人間社会学研究科福祉社会専攻 2004年3月終了
学 位	修士(福祉社会学)・福岡県立大学・2004年3月
職 歴	1971.3-1979.6 天臣会松尾病院 1979.7-2004.3 労働福祉事業団 九州リハビリテーション大学校 2004.4-2011.3 東筑紫学園 専門学校九州リハビリテーション大学校 2004.4-2007.3 福岡県立大学非常勤講師(精神科リハビリテーション学) 2011.4-現在 東筑紫学園 九州栄養福祉大学
教育上の業績	労働福祉事業団及び東筑紫学園九州リハビリテーション大学校常勤講師、福岡県立大学非常勤講師
主な研究活動	作業療法教育方法論に関する研究 精神科障害への作業療法方法論 精神科作業療法史 障害高齢者への精神的支援 障害を持った人々への就労支援
主な社会活動	社会福祉法人北九州精神保健福祉事業協会評議委員、北九州市介護認定委員、福岡県作業療法協会教育部、社会福祉法人善興会生活アドバイザー
所 属 学 会	日本作業療法士協会、日本交流分析学会、福岡県デイケア研究協議会
受 賞 歴	

大丸 幸 OHMARU Miyuki 教授

所 属	九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
専 門 分 野	地域作業療法（精神・身体・知的障害、高齢者）、地域保健と障害福祉、行政職
最 終 学 歴	昭和44年労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校作業療法学科卒業、昭和46年米国カンサス大学作業療法学科留学、昭和54年北九州大学外国語学部米英学科Ⅱ部卒業、
学 位	学士
職 歴	精神科病院「医療法人恵愛会福岡病院・医療法人幸仁会坂本病院」5年、教職「労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校作業療法学科」8年、行政職「北九州市保健福祉局：精神科デイケアセンター主査、年長者相談コーナー主査、テクノエイドセンター係長、更生相談所所長（障害者福祉係・地域リハビリテーション係・障害認定係の統括）」30年
教育上の業績	専任教職歴8年（労働福祉事業団九州リハビリテーション大学校作業療法学科）非常勤講師（国立近畿リハビリテーション学院作業療法学科3年、国立名古屋大学作業療法学科3年、国立長崎大学作業療法学科3年、四国医療専門学校作業療法学科10年、熊本保健科学大学作業療法学科2年、西南女学院大学福祉学科3年、北九州大学：自己管理論5年）厚生労働省理学療法士作業療法士国家試験委員10年
主な研究活動	精神障害者・認知症ケアアセスメント「日本作業療法士協会版作成」（社会福祉・医療事業団）3年、地域保健総合推進事業「行政の理学療法士、作業療法士が関与する効果的な事業展開に関する研究」（公衆衛生協会補助事業）9年、障害者保健福祉推進事業「精神障害者の退院促進および円滑な地域移行のための地域支援体制構築に向けた研究」（厚生労働省委託研究事業）4年、北九州市介護実習普及センター（テクノエイドセンター）立ち上げ事務局（北九州市保健福祉局）3年、北九州市障害程度区分認定審査会立ち上げ事務局（北九州市保健福祉局）5年、こころの健康科学研究事業「他外行為を行った精神障害者の看護に関する研究」（厚生労働科学研究事業）3年、財団法人テクノエイド協会「公的給付における福祉用具評価システムに関する調査研究」（厚生労働省委託研究事業）5年、老人保健健康増進等事業「高齢者の持てる能力を引き出す地域包括支援のあり方研究」（厚生労働省委託研究事業）2年、他
主な社会活動	日本作業療法士協会理事16年、福岡県作業療法協会副会長14年、第37回日本作業療法学会会長（平成15年6月）、財団法人テクノエイド協会評議員5年、医療法人恵愛会福岡病院（九州リハビリテーション大学校精神科実習地第1号）同門会会長17年、福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会委員（福岡県）5年、北九州市地域ケア推進協議会高齢者部会事務局（北九州市）4年、北九州市発達障害児（者）支援体制整備検討委員会委員（北九州市）5年、他
所 属 学 会	日本作業療法士学会、日本公衆衛生学会、日本デイケア学会
受 賞 歴	日本作業療法士協会表彰受賞（平成13年6月）

塩田 光重 SHIOTA Mitsushige 教授

所 属 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
専 門 分 野 数理科学 経営科学
最 終 学 歴 京都大学 大学院工学研究科 修士課程
学 位 京都大学 博士（情報学）
職 歴 新日本製鐵株式会社
教育上の業績 早稲田大学情報生産システム研究センター客員教授
主な研究活動 鉄鋼生産システム構築における計画工学の応用に関する研究
主な社会活動 日本オペレーションズ・リサーチ学会 九州支部 支部長
所 属 学 会 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本経営工学会
受 賞 歴

所属 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科
専門分野 福祉用具、身体障害系作業療法
最終学歴 長崎純心大学大学院
学位 博士
職歴 昭和 46 年 4 月 兵庫県リハビリテーションセンター
昭和 48 年 5 月 農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
昭和 49 年 3 月 神奈川県総合リハビリテーションセンター
昭和 57 年 1 月 農協共済別府リハビリテーションセンター
昭和 60 年 4 月 長崎大学医療技術短期大学部作業療法学科
平成 13 年 10 月 長崎大学医学部保健学科に改組
平成 18 年 4 月 長崎大学大学院医歯薬総合研究科保健学専攻に改組

教育上の業績

1 教育の実践例

- ① 作業療法専攻学生の身体障害領域の「臨床実習」指導
- ② 福祉用具展示施設等の積極利用
- ③ 福祉住環境コーディネーターの資格取得指導

2 作成した教科書，教材

- ① 作業療法技術論 1 共同医書 平成 5 年 4 月
義肢・装具学，リハビリテーション関連機器
- ② 入門 リハビリテーションと生活 相川書房 平成 6 年 3 月
- ③ 作業療法技術論 2、共同医書 平成 11 年 9 月
日常生活活動
- ④ 作業療法技術論 1 共同医書 11 年 9 月
義肢、装具，リハビリテーション機器、住宅改造
- ⑤ テクニカルエイド 三輪書店 平成 15 年 12 月

3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価

- ① 国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会副会長 平成 14 年～平成 16 年

4 実務家教員についての特記事項

- ① 公開講座の実施
- ② 福祉用具プランナー育成
- ③ 介護支援専門員育成
- ④ 2 級ヘルパー育成
- ⑤ 在宅ケアアセスメントとケアプラン 作成
- ⑥ 介護保険福祉用具ガイドブック 編集

主な研究活動

- ・電動リクライニング車椅子の肘かけの問題点とその対策：理学療法と作業療法 第 11 巻 1 号 P59-P60
- ・電動車いすの操作能力評価具：理学療法と作業療法 第 13 巻 8 号 P552
- ・環境制御システム：理学療法と作業療法 第 15 巻 1 号 P170-P174
- ・高齢化社会とテクノロジー：第 2 回エル・エス・ティ学会論文集 P19-P22
- ・高位頸髄損傷者へのマウススティックの適用：理学療法と作業療法 第 22 巻 9 号 P599-P60

- ・在宅痴呆性老人のマネージメント作業療法ジャーナル:第23巻6号 P473-P477
- ・家庭における徘徊老人の介護への援助:作業療法 第8巻5号 P730-P732
- ・障害老人4事例の在宅時と老人デイケア参加時の生活行為の対比:作業療法 第9巻1号 P37-P44
- ・散歩中の痴呆老人との簡易通信装置:第6回リハ工学カンファレンス論文集 P67-P70
- ・外出感知・緊急通報:作業療法ジャーナル 第27巻10号 P993-P996
- ・普賢岳噴火被災者の仮設住宅における生活調査:リハビリテーション・エンジニアリング 第10巻2号 P20-P25
- ・住まいとその問題点:作業療法ジャーナル 第30巻11号 P882-P885
- ・老人の主観的幸福感に影響を及ぼす諸要因:長崎大学医療技術短期大学部紀要 第11巻 P67-P71
- ・高齢入院患者のQOL-老人デイケア 利用者と比較して-:作業療法 第17巻4号 P273-P279
- ・老人保健施設入所者の主観的 QOL と対人関係:長崎大学医療技術短期大学部紀要 第12巻 P99-P104
- ・介護保険下における住宅改修・福祉用具の供給-介護支援専門員に対するアンケート調査を通して-:長崎大学医療技術短期大学部紀要 第14巻 P79-P83
- ・介護用オムツに対する医療・福祉系学生の意識調査:第23回リハ工学カンファレンス論文集 P297-P298
- ・神経難病の方に対する在宅生活の支援:第24回リハ工学カンファレンス論文集 P167-P168

主な社会活動

平成22年度

評議員 (バイオメカニズム学会)

監事 (日本作業療法士協会)

監事 (長崎県作業療法士会)

演題査読委員 (社団法人 日本作業療法士協会)

バリアフリーアドバイザー (国土交通省九州運輸局)

佐賀県立福祉施設の民間移譲に係る選定委員会委員長 (佐賀県)

佐賀県立福祉施設フォローアップ委員会の委員 (佐賀県)

障害者自立支援機器情報システム検討委員会委員 (テクノエイド協会)

障害者自立支援機器システム整備事業 情報専門部会委員(テクノエイド協会)

障害程度区分審査会委員(時津町)

介護認定審査会委員(長与町)

評議員(長崎県すこやか長寿財団)

佐世保市交通バリアフリー推進協議会 副委員長 (佐世保市)

作業療法ジャーナル 編集委員 (三輪書店)

所属学会

日本義肢装具学会、バイオメカニズム学会、日本職業リハビリテーション学会
 日本作業療法士協会、長崎県作業療法士会会員、ヒューマンインターフェース学
 会、日本リハビリテーション工学協会

作業療法教育研究会会員

受賞歴 平成 11 年 6 月 社団法人 日本作業療法士協会 協会表彰

平成 17 年 10 月 厚生労働大臣表彰

久野 真矢 HISANO Shinya 教授

所属 九州栄養福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科

専門分野 作業療法学, 保健学

最終学歴 広島大学大学院保健学研究科博士課程後期

学位 博士 (保健学)

職歴 西日本病院, 豊栄クリニック, 寺岡整形外科病院, 介護老人保健施設ゆめさき

教育上の業績 リハビリテーションカレッジ島根作業療法学科 (1998年~2011年)

主な研究活動 久野真矢, 他: 認知機能と機能年齢の関連. 作業療法 29:470~478, 2010.

久野真矢: 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R), Mini-Mental State Examination (MMSE) と障害老人の日常生活自立度 (寝たきり度), 認知症高齢者の日常生活自立度の関連について. 老年精神医学雑誌 20:773-780, 2009

久野真矢, 他: 高齢者施設食堂のテーブル周囲に仕切りを使った環境設定が, 認知症高齢者のQOL, 認知水準に及ぼす影響. 臨床作業療法 6:177-184, 2009.

久野真矢, 他: 高齢者施設食堂のテーブル周囲に仕切りを設置した環境設定が, 認知症高齢者の情動, 社会的交流に及ぼす影響. 作業療法 27:17-26, 2008.

久野真矢, 他: 認知症高齢者の客観的QOL: 社会的交流評価尺度の開発に関する研究 (第2報) ~8種類の交流評価指標の信頼性は高いのか~. ジェロントロジー ニューホライズン 20:73-79, 2008.

久野真矢, 他: 畳腰掛空間と洋式家具空間の設定が認知症高齢者の行動に及ぼす差異. 作業療法 26(4):364-373, 2007.

久野真矢, 他: 認知症高齢者の客観的QOL: 社会的交流評価尺度の開発に関する研究 (第1報) ~8種類の交流評価指標は, どの程度の比率で認知症高齢者の間で営まれる交流を説明できるのか~. 作業療法ジャーナル 41:1251-1256, 2007.

久野真矢: 認知症高齢者の主観的QOL: 感情評価尺度の信頼性に関する研究. 平成19年度日本学術振興会科学研究費(奨励研究)報告書(課題番号:19929013)

久野真矢: 認知症高齢者の客観的QOL: 交流評価尺度の開発に関する研究. 平成18年度日本学術振興会科学研究費補助金(奨励研究)報告書(課題番号:18929011)

Hisano S, et al: The relationships of activities of daily living functional age and cognitive faculty in Japanese elderly. 15th WFOT, Santiago, CHILE, 2010.

Hisano S, et al: Influences on behavior and social interaction among the demented elderly in the tatami (Japanese style) space. 14th WFOT, Sydney, AUSTRALIA, 2006.

主な社会活動 日本作業療法士協会機関誌編集委員会第一査読担当編集協力者
日本作業療法士学会演題査読委員

所属学会 日本作業療法士協会 (認定作業療法士, 認知症専門作業療法士)
日本作業療法教育研究会

受賞歴 特記事項なし
